

鳥よけネットの効果を、設置あり・なしの株で比較しよう

期間目安	2週間	費用目安	中
研究タイプ	観察	対象学年	中学生（1人〜グループOK）

1. この研究のねらい

鳥による食害を防ぐネットを設置した株と、設置していない株で、実の被害数がどう違うかを2週間比較します。

2. 仮説を立てよう

実験・調査の前に、自分なりの予想を立てておきましょう。例えば：

- ネットがある方が被害が少ないのではないかな
- ネットの隙間があると被害を防ぎきれないのではないかな

ポイント：予想が外れても問題ありません。「なぜ予想と違ったのか」を考えることが自由研究の面白いところです。

3. 準備するもの

- 防鳥ネット
- 支柱
- 株2つ（ネットあり／なし）
- 記録シート

4. 進め方（2週間プラン）

1週目	ネットを設置し、被害の初期状況を記録。数日おきに実の被害数を確認する
2週目	引き続き観察を続け、2株の被害数を比較してまとめる

5. 記録シートの例

日付	被害の実の数（ネットあり）	被害の実の数（ネットなし）	気づいたこと

※このフォーマットを1回分として、記録のたびに行を増やしていきましょう。

6. 進めるうえでの注意点

- ネットの隙間から鳥が入らないよう固定する
- 株の生育を妨げないよう設置する

7. まとめ方・考察のポイント

- 防鳥対策の効果をまとめる
- 設置方法の改善点があれば考察する

8. レポートの構成例

- 表紙：研究テーマ、氏名、学年、日付
- 研究の目的・きっかけ：なぜこのテーマを選んだか、何を知りたいか
- 仮説：実験・調査前に立てた予想
- 準備したもの・方法：使った道具・材料、実験や調査の手順
- 結果：記録表、写真、グラフなど
- 考察：結果からわかったこと、仮説との比較、理由の推測
- まとめ・感想：研究を通して学んだこと、次にやってみたいこと

8. 参考にした資料：本やウェブサイトなど（あれば）